とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年2月9日(月)
クラス名(年齢)	ひよこ組(0歳児)
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

雪に触ってみよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・今までの活動で氷をつくって触ったり、霜柱の上を歩くなど冬の自然に触れて楽しんできたので、雪が積もったタイミングで雪に触れて感触を味わったり、冷たさを感じてみたいと思った

2、活動スケジュール

・雪を持ったり、雪の上を歩いたりして雪の感触を味わう
・園庭で雪に触れて遊ぶ

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・雪
・シャベルやカップなどの砂場玩具

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・園舎裏へ行き、氷のカップに乗った雪を触り冷たさを味わう
・園舎裏の雪の上を歩きどんな音がするかを保育者と共有する
・雪をシャベルですくってカップに入れて楽しむ

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・雪が何かわからず、触ることに対して少し抵抗感がある子どももいたが、友だちや保育者が触っているところを見て触ることができた。 ・カップに溜めていた水が氷になり、その上に雪が積もっていたのを触ったり、また雪を乗せたりして楽しんだ。 ・保育者が「冷たいね」と言葉をかけると少し触って「つめたい！」とすぐに手を引く姿が見られた。 ・雪を踏んで「きゅっきゅ」と固まったり、「ふわふわ」といった感触を子どもたちと保育者で共有した。 ・シャベルで雪をすくってコップや皿に移し保育者に見せたり、雪を山盛りにするなどして雪遊びを楽しんだ。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・０歳児クラスの子どもたちはほとんどの子どもが雪に触れる経験が初めてだと思うが、友だちや保育者が触っているから自分も触ってみようという気持ちが見られたり、「冷たい」という感覚を保育者とのやりとりを通してより知ることができたのではないかと感じた。先月からカップに水を溜めて氷ができるかどうか見ていたので、そこにまた雪という冬の自然が重なって触れることができて良かった。